



第117号

昭和36年7月15日 発行所 宮崎県東郷郡 東郷村役場

六月定例議会報告

六月定例議会は、六月十七日午前十時村議会議場にて開会され、会期一日の間で次の事項について審議の結果、いずれも原案の通り可決確定されました。

○議案第四十六号 監査委員の選任について 議案議決の中より選任された監査委員寺原勝美氏は、議長就任のため退職したので、その後任者とすべく、新名岩喜氏を監査委員に選任する議案で原案通り可決確定した。

○議案第四十七号 宮崎県町村消防団員災害補償組合理約の一部改正について 今回の追加更正算は、消防団員災害補償組合理約の一部改正について、宮崎県町村消防団員災害補償組合理約の一部改正について、宮崎県町村消防団員災害補償組合理約の一部改正について...

○議案第四十八号 村有財産(土地)の取得について 村有財産(土地)の取得について、村有財産(土地)の取得について、村有財産(土地)の取得について...

結果採択した。

以上の事件について可決後村政一般について質問が行はれたのでその状況を簡単に知らせます。 石田数夫君 第一に本年度の予算に計上されている各種補助金は時期を失うなど、第二に宮崎県教育委員会の、本年度の運動方針として社会党委持を決定された様子が、このことについて、個人個人の入党は差し支えないにしても集団入党することは是非について伺いたい。

結果採択した。

村長 遺族座席については、今後は遺族座席に限り、善後等の措置を講ずるよう善処する。 座席は粗末であったと思うが、誠心誠意執行して来たので、その点御了承願いたい。

結果採択した。

教育長 従来は学校を代表して校長が、出席して来ていたが、児童の出席については、教育基本法第九條の規定により宗教教育の活動に於いて若干懸念があるもので、今後執行して来たので、その点御了承願いたい。

結果採択した。

教育長 日教組の小林委員長が、日教組として入党したことは既に報道されたところであるが、宮教組も本年度の運動方針として社会党委持を決定している。この入会については個人の自由であるので教職員の良識にまづ以外にない。本村の教職員に対しては、教育の中立性が確保されるよう十分指導していききたい。

結果採択した。

診療所の給食施設工事費等の追加予算で総額一九六千円余を追加した。このため本年度の予算は、一、〇、五、九二、八七〇円となった。

結果採択した。

○請願「八重原ダム建設反対」について、迫之内区長外から提出され審議の結果、本年七月三十一日迄です。八月は村県民税第二期になります。

完納

固定資産税第二期の納期は七月三十一日迄です。八月は村県民税第二期になります。

夏

牧水

夏草の花のくれなゐなにとなくうとみながらに挿しける。 輝けば山もかがやき家も照り夏真白雲わびしかりけり。 ぼろぼろと遠く尺八鳴り出でぬこの曇り日の窓のいづれぞ。 くらり日になきやまぬ蟬とわがこころ語らふごとく哀へて居り。

この方法については後刻資料を添付して説明する。 松原三郎君 村長は農業政策を遂行し農村を躍進させるためには、人の問題が第一である。農業者の生活安定と健康増進は、教育行政の重要な課題である。...

適地適木の見分け方

一年も待たずに収穫のある農作物で、適地適作が横行されている。二十三年の間の長い生長期間を必要とする造林の場合、適地に適木を植えることが、外懸く取扱われている。...

庭田婦協(寺迫)の歩み

私たち庭田婦協の歩みは、三十五年の歩みを報告させていただきます。 庭田婦協の歩みは、三十五年の歩みを報告させていただきます。...

夏休みの補導について

寺小校長 大田安夫

夏休みのよい指導を一緒に考えてみましょう。かねては勉強も学校に頼んで...

夏休みになることは子供にとつて嬉しいことな... 自由になること、好きな時と自由に行けること、何...

季節保育所風景

今年も婦人会が主となつて村内10カ所に季節保育所が開設されました...



① 村長をよいおじさんと、みたててたわむれる子等
② 遊戯によるこぶ子等
③ 無心に午睡をとる子等

その他子供会のあり方や映画テレビ観覧の注意など色々あり、要は子供たちが安全に楽しく過ごせるように努めることです。

新しい時代の私達を守るものは 国民年金です

七月二日の新聞に古井厚相の厚生行政長期構想なるものが掲載されましたが、これが注目されるのは、国民年金の増額と肩を並べる水準に達することを目標としている点にありま...

水稲作と水についての一考察

長渡冠山

在も老後も保護されていると云うゆとりを心にもちたが、下げていかなければならぬ。このように組合に對しては、常会等に年金係りが出席して座談会を開くなどできる限りの努力を致さねばならぬ。...

用水路畔地盤等から水が漏れ、之が為に完全にするこ上原より少いものも持ちずから一週に一度位づつ水を重にする、畦の塗り方をセメントでよくぬること、水路を深くして自分の田のみ深水を吐き捨てること、一滴の水も田以外に吐き捨てず必ず水田から水田へ注ぐようにする。...

東郷音頭

実門作詞

- (1) 山は繁山 川幸承けて 瀬に鮎おどる
(2) 鮎を恋いして 郷土を恋いて 祖国愛
(3) 美々川の瀬音に 尾鈴は晴るる 生い立つところ

点滴

一面よりのつづき 三十五年度決算と昭和三十六年度事業計画について...

夏は心を鍛錬するに花が咲く。川も山も招いて、川も山も鍛錬して、たくましく心と体を鍛錬する。